

第52期

中間報告書

平成28年1月1日～平成28年6月30日

PRODUCT MOTHER



不二精機株式会社

株主の皆様へ

「安心をお届けする不二精機グループ」を目指して



代表取締役社長 伊井 剛

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、所得や雇用の改善により緩やかな回復基調が続いておりますが、海外の経済動向や政情不安に加え、為替相場や株式市場が大きく変動するなど景気の先行きは、足踏み傾向が見られ、概ね横ばいとなりました。一方、世界経済は景気の減速や急速な円高の進行などから不透明感の強い状況が続いており、さらに中国の景気は民間企業の設備投資が減速傾向に推移し、当社グループを取り巻く先行きに関しては予断を許さない状況が続いております。

このような環境の中、当社グループは、中期スローガンとして「安心をお届けする不二精機グループ」を掲げ、品質管理体制の徹底強化によるグループ一体となった顧客満足度の更なる追求を図り、精密金型のコア技術をもとに自動車及び二輪車などの成形事業分野への積極的な展開を行い、顧客への高付加価値製品の提供による安定受注の拡大に努めてまいりました。

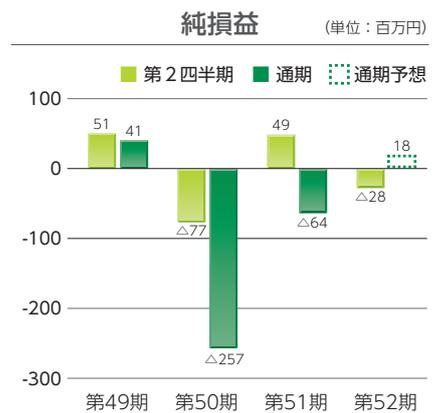
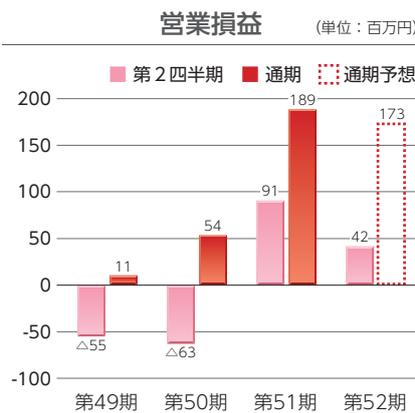
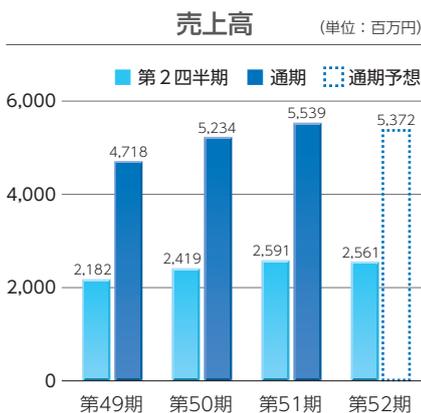
また、「『考動』で価値を創る」をグループ全社員の行動規範とし、「お客様の利益の最大化」を目標に、新たな価値創造、また「見える化」をはじめとする日々の業務の改善活動に取り組んでおります。

このような結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、前年同四半期比29百万円(1.2%)減の25億61百万円となりました。

損益につきましては、射出成形用精密金型及び成形システム事業において一時的な稼働率の低下が発生したことなどにより、前年同四半期比48百万円(53.5%)減の営業利益42百万円、経常損失14百万円(前年同四半期は経常利益36百万円)、四半期純損失28百万円(前年同四半期は四半期純利益49百万円)となりました。

株主の皆様には、これからも当社グループの活動にお一層のご理解とご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

連結財務ハイライト



「プロダクト・マザー」という考え方

精密成形金型の製造を核として広がった当社の技術をもって、プロダクトデザインからアッセンブリ成形品の提供まで、精密成形品および精密成形品製造に関わるソリューションをワンストップで提供することを可能にしております。商品企画から成形品のアッセンブリまで、工程のすべて、あるいは一部をお客様のニーズに合わせて提供することで、お客様の利益向上とその最大化を目指します。

この「PRODUCT MOTHER」という発想、これが不二精機としてお客様に提案させていただく次代のスタイルです。

商品企画の効率化

商品企画段階において、製造過程情報を提供させていただき、完成品のイメージなどお客様のニーズを反映することができます。

企画

お客様利益の最大化

成形後の工程 (アッセンブリ)

成形品、滅殺菌、印刷、組立等の後工程をワンストップで行います。

セミアッセンブリ成形品

PRODUCT MOTHER

精密金型

「高精度、ハイサイクル、多数個取り、長寿命」の超精密金型を提供致します。

精密金型

成形システム

超精密金型の効果を100%引き出すオリジナル成形システムを提供致します。

製造システム

金型部品の自動加工システム、生産管理システムなどユースウェア（運用ノウハウまたは利用技術）を付加したシステムを提供致します。

ユースウェア

連結財務諸表

四半期連結貸借対照表のポイント

(単位：千円)

科目	当第2四半期末 (平成28年6月30日現在)	前第2四半期末 (平成27年6月30日現在)	前期末 (平成27年12月31日現在)
1 ▶ 流動資産	2,433,262	3,267,340	2,967,276
固定資産	2,823,963	3,055,644	2,898,703
有形固定資産	2,542,836	2,701,183	2,603,217
無形固定資産	64,022	73,023	66,299
投資その他の資産	217,104	281,438	229,186
繰延資産	72,690	110,932	85,147
資産合計	5,329,915	6,433,918	5,951,128
2 ▶ 流動負債	2,844,249	3,375,560	3,346,918
固定負債	1,651,376	1,664,557	1,490,400
3 ▶ 純資産合計	834,190	1,393,800	1,113,808
負債・純資産合計	5,329,915	6,433,918	5,951,128

POINT 四半期連結貸借対照表

- 1 流動資産は、自己株式の買取などによる現預金の減少2億30百万円および売掛金・棚卸資産の圧縮などにより前連結会計年度末に比べて5億34百万円減少いたしました。
- 2 流動負債は、1年内社債の償還や買掛金の減少などにより、前連結会計年度末に比べて5億2百万円減少いたしました。
- 3 純資産は、自己株式の取得1億3百万円、円高による為替換算調整勘定の減少1億42百万円などにより、前連結会計年度末に比べて2億79百万円減少いたしました。

四半期連結損益計算書のポイント

(単位：千円)

科目	当第2四半期累計 (平成28年1月1日から 平成28年6月30日まで)	前第2四半期累計 (平成27年1月1日から 平成27年6月30日まで)	前期 (平成27年1月1日から 平成27年12月31日まで)
4 ▶ 売上高	2,561,283	2,591,239	5,539,905
売上原価	2,046,685	2,009,795	4,372,772
売上総利益	514,597	581,443	1,167,132
販売費及び一般管理費	471,955	489,842	977,786
5 ▶ 営業利益	42,641	91,600	189,345
経常利益又は経常損失(△)	△ 14,858	36,534	△ 53,279
6 ▶ 親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期(当期)純損失(△)	△ 28,668	49,455	△ 64,320

POINT 四半期連結損益計算書

- 4 売上高は、射出成形用精密金型の売上高が減少したことなどにより、前年同四半期に比べて29百万円減少いたしました。
- 5 営業利益は、射出成形用精密金型及び成形システム事業において、中国市場での大口受注の下期へのずれ込みによる一時的な稼働率の低下が発生したことなどにより、前年同四半期に比べて48百万円減少いたしました。
- 6 四半期純利益は、営業利益の減少および前年同四半期に計上した為替差益が減少したことなどにより、前年同四半期に比べて77百万円減少し四半期純損失となりました。

(1) PT.FUJISEIKI INDONESIA 順調に業容を拡大。

当社グループは、自動車業界（二輪・四輪）向け成形品事業の拡大を図り、今後のグループ全体の経営の安定化を目指しております。2012年10月に設立し2013年10月に操業を開始しましたインドネシア工場での当第2四半期累計期間の売上高は306億ルピア（前年同四半期比37.0%増）と順調に推移しており、今年度の営業利益の黒字化を目指しております。



(2) 減資の実行

本年3月の株主総会でご承認いただきました減資5億34百万円を5月に実行し、資本金は5億円となりました。

この減資により配当金支払などの原資となる会社法上の分配可能額が発生し、配当金の実行が可能な状態となっております。

早期の配当金の再開に向けて、当期の利益目標の達成を目指してまいります。

セグメント別概況

■ 射出成形用精密金型及び成形システム事業

当社グループの金型は、独自の金型設計思想により①ハイサイクル ②多数個取り ③ロングライフ ④高精度、これらの要素を備えた金型を実現。得意分野であります「医療」、「食品」用をはじめ、「光学機器」、「自動車部品」、「産業機器」用にいたるまで、あらゆる分野向けの精密金型を提供して、国内外のお客様より高い評価をいただいております。

また、お客様のご要望に応じて、成形機をはじめとして、成形周辺機器、取り出し機、組立機にいたるまで、最適な品質、コストでの成形品量産を可能とする、システムでの提案、販売を行っております。

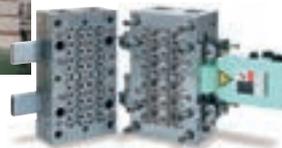


【セグメント別売上高】

医療機器用精密金型の中国市場で大口受注の下期へのずれ込みが発生したことなどにより、当セグメントの売上高は、10億20百万円（前年同四半期比4.1%減）となったことなどにより、セグメント損失39百万円（前年同四半期はセグメント利益64百万円）となりました。



注射器製造ライン

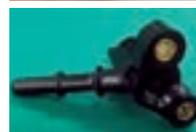


■ 精密成形品その他事業

当社グループの得意とする超精密、ハイサイクル、ロングライフの金型を活かした精密成形品を、お客様に満足していただける品質・価格・納期で提供しております。3Dプリンターにより生産前に製品形状をご確認いただくことが可能です。

【セグメント別売上高】

自動車部品用成形品の受注が順調に推移したことなどにより、当セグメントの売上高は、16億30百万円（前年同四半期比3.8%増）となったことなどにより、前年同四半期比46百万円（173.6%）増のセグメント利益73百万円となりました。



会社の概要

■ 会社概要 (平成28年6月30日現在)

商号	不二精機株式会社 FUJI SEIKI CO., LTD.
設立	昭和40年7月1日
資本金	5億円
従業員数	115名
事業所	本社・松山工場・関東営業所
主な事業内容	プラスチックを加工するための射出成形用精密金型及び成形システムの製造・販売 精密成形品の製造・販売

■ ネットワーク (平成28年6月30日現在)



◆ 株主メモ

事業年度	毎年1月1日から12月31日まで
定時株主総会	毎年3月下旬
基準日	期末配当 毎年12月31日 中間配当 実施する場合は6月30日
単元株式数	100株
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 TEL 0120-094-777 (通話料無料)
公告方法	電子公告 電子公告によることができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときには、日本経済新聞に掲載します。 公告掲載URL http://www.fujiseiki.com/

(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店でもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行全国本支店でお支払いいたします。

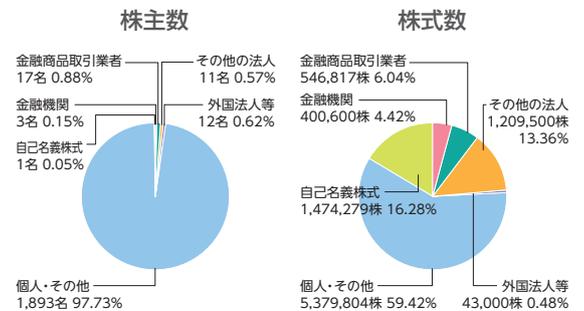
■ 役員 (平成28年6月30日現在)

代表取締役社長	伊井 剛
取締役副社長	宮崎 正巳
専務取締役	山本 幸司
取締役(社外)	高橋 秀昭
常勤監査役	菅 一明
監査役(社外)	梅田 浩章
監査役(社外)	橋本 豊嗣

■ 株式の状況 (平成28年6月30日現在)

発行可能株式総数	23,720,000株
発行済株式の総数	9,054,000株
株主数	1,937名

■ 株式所有者別状況



ホームページのご案内

ホームページでも当社の会社情報や最新のIR情報などがご覧いただけます。

<http://www.fujiseiki.com/>



トップページ

IR情報ページ